

諏訪小だより

令和 7 年 9 月 26 日
多摩市立諏訪小学校
校長 齋藤 幸之介
10 月号

見守られながら、次へ

校長 齋藤幸之介

本日の終業式をもって前期の教育活動を終了いたします。夏休みを挟みましたが、4月からの半年間、皆様には多方面にわたる御指導と御協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

話は前後いたしますが、「わたしの夏のチャレンジ展示会」には多数御来校いただきましてありがとうございました。9月6日の土曜日には、展示会場になっていた廊下が参観者で一杯になっていました。その後行われた青少協諏訪地区委員会では、子供たちの作品の「クオリティが上がった」との評価を頂戴しました。子供たちの力作から一人一人の可能性の大きさを感じ取っていただけた、と嬉しい思いであります。

このことと結び付けることはやや強引かもしれませんが、翌週に行われた保護者会への参加率が芳しくなく、各担任教員は正直落胆し、そして次なる一手を何とかしよう、と考えています。有難いことに、全ての学級に、PTA・はなみずきの会 下村祥子会長は PTA 活動の意義についてお話をくださいました。このことも含め、改めまして学校と保護者との連携を考えてまいりたいと思っています。御協力をお願い申し上げます。

地域の方々は見てくださっている

さて、先日の朝に一本の御電話を頂戴しました。ある地域住民の方からでした。

5年生が登校時に通学路のゴミ拾いを行っていますが、この活動に対する賞賛の御言葉を頂戴しました。取組についての質問も分かりやすく行ってくれた、との御報告も頂戴しました。この方はある高等学校で教鞭をとられているそうですが、いつか5年生の取組の素晴らしさを高校生に伝えたい、ともおっしゃっていました。

もちろん、子供たちは誰かに褒められてくたくた活動しているわけではないでしょう。ただただ「地域のために」という一途な気持ちで頑張っています。しかし、褒められて嬉しくない子もいないでしょう。思いが

けないタイミングで頂戴した御言葉は、子供たちの自己有用感を高め、地域の活動にさらにすすんで参加することにつながる、と捉えています。

一つの成果を次に

以前お伝えをしたかと思いますが、6年生は7月に「すわっ子市場」を行いました。計画段階では工夫を凝らして準備をし、市場当日は多くのお客様の期待に応えるべく十分な気配りを行いながら販売活動を行いました。翌日の振り返りでは、今後の取組の方向性も子供たちから示されました。

当日は多摩市教育委員会からの視察もありました。千葉正法教育長も訪れ、励ましをもらいました。千葉教育長は、子供たちの活発な様子と、すわっ子市場の可能性を深く認識してこの活動がさらに広がっていけば、と「次なる一手」を紹介してくれました。それは、国土交通省が推進している「グリーンインフラ」です。御存じの方も多くいらっしゃると思いますが、これは自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする取組のことで、6年生の取組の新たな起点にしていこう、と考えています。学識経験者の方から新たな学びを頂戴し、子供たちの活動がどのように展開していくのかに期待をします。

繰り返しにもなりますが、平素の諸活動は一見すると地味であり、成果が見えづらい場合もあります。しかし、こうして見守ってくださる方がいらっしゃる事が本校の教育活動を大いに発展させていくことは言うまでもありません。頂戴したお励みや御助言並びに御支援を後期に生かしてまいります。10月の運動会を始めとする多くの学校行事を充実させることも含め、努力をしていきたいと思っています。

今後も御理解と御協力を頂戴したく、深くお願い申し上げます。

「わたしの夏のチャレンジ展覧会」

9月3日(水)より9日(火)まで、「わたしの夏のチャレンジ展覧会」を開催しました。児童一人一人が夏休みに取り組んだ作品やレポートが勢揃いし、力作が並びました。土曜日の作品公開には多くの保護者の皆様に御来場いただき、温かいまなざしで子供たちの学びの成果を御覧いただきました。子供たちも作品を鑑賞し、来年度のチャレンジに向けた新たな発想や意欲を膨らませている様子が見られました。また、一つのテーマに根気よく取り組み、最後までやり遂げた姿からは、大きな成長を感じることができました。夏休み中の御家庭での御支援、誠にありがとうございました。

夏チャレ担当

「諏訪小学校の学習」

本校では、「思いや願いをもって、自分たちの手で学習を進めることができる児童の育成」をテーマにして全学級で授業研究をしています。

6月には、4年生が社会科「水はどこから」で、自分の考えを効果的に表現する方法を選択できる力を伸ばす実践を行いました。9月には、5年生が総合的な学習の時間「私たちにできること」で、他者の様々な意見を受け止めながら話し合い、課題解決に向けて協力して自分たちができることに取り組もうとする態度を育む実践を行いました。

教師がどのように児童と関わってどのような言葉を掛けるのか、また、児童にどのような振り返りをさせて次の学習に思いや願いをつないでいくのかが論点となり、様々に議論してよりよい実践を目指しています。

今後も、様々な教科での実践研究を行い、子供たちのよりよい学習を目指していきます。

研究主任

「委員会活動」

5・6年生の児童、計画実行委員会については4年生の代表児童が、諏訪小学校をよりよくするために、計画実行、放送、図書、保健、運動、飼育、集会、給食美化の8つの委員会に分かれて活動しています。委員長、副委員長を中心に月1回の委員会活動で活動の内容を話し合ったり、学校生活には欠かせない常時活動の振り返りを行ったりと、高学年が協力して活動を行い、学校を支えています。

委員会担当